

# 第2学年 生活科

まつさかしりつだいよんしょうがっこう  
大阪市立第四小学校



## 【学習目標】

- ・学校、家庭及び地域の生活にかかわることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
- ・身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
- ・自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。

## 【学習を進めるにあたって】

しやうきやうざい 使用教材	
きやうかしよ 教科書	「たのしいせいかつ 下 はっけん」 (大日本図書)

もの 持ち物	
きやうかしよ 教科書	ふでばこ 筆箱 下敷き タブレット

## 【学習の約束】

- 自分の考えを進んで発表しましょう。
- 先生や友だちの話をしっかり聴きましょう。
- 探検や観察を通して、たくさんのことを発見しましょう。
- 見つけたことや気付いたことを絵や文で表しましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう  
【学習内容】

ぜん 期 前 期	こう 期 後 期
<p>○春はっけん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわく<sup>ねんせい</sup>2年生のとびらをあげよう</li> <li>・春<sup>はる</sup>とあそぼう</li> <li>・おいしくそだってね</li> <li>・春<sup>はる</sup>の町<sup>まち</sup>をさんぽしよう</li> </ul> <p>○生きものはっけん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた!生きもののひみつ</li> <li>・雨<sup>あめ</sup>あがりにも見つけたよ</li> <li>・大きくおいしくそだつひみつはっけん</li> <li>・わくわくどきどき<sup>なつやす</sup>夏休み</li> </ul>	<p>○わたしの<sup>まち</sup>町はっけん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町<sup>まち</sup>のキラリを見つ<sup>い</sup>けに行こう</li> <li>・町<sup>まち</sup>のキラリをあつめよう</li> </ul> <p>○町<sup>まち</sup>のキラリひろがれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町<sup>まち</sup>のキラリをひろげたい</li> </ul> <p>○<sup>たの</sup>楽しさひろがれ わたしのおもちや</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作<sup>つく</sup>ってみたいおもちゃがいっぱい</li> <li>・自分<sup>じぶん</sup>だけのおもちやを作<sup>つく</sup>ろう</li> <li>・わくわくランドかいてん</li> </ul> <p>○わたし ひろがれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見<sup>み</sup>つけよう 自分<sup>じぶん</sup>のすてき みんなのすてき</li> <li>・小<sup>ちい</sup>さかったころの自分<sup>じぶん</sup>に 会<sup>あ</sup>いに行こう</li> <li>・自分<sup>じぶん</sup>ひろがれ はっぴ<sup>かい</sup>ょう会</li> <li>・ありがとうをとどけよう</li> <li>・みらいにむかってしゅっぱつ</li> </ul> <p>※子どもたちの様子<sup>ようす</sup>や社会<sup>しゃかい</sup>情勢<sup>じょうせい</sup>、他<sup>ほか</sup>の行事<sup>ぎょうじ</sup>との関係<sup>かんけい</sup>で学習<sup>がくしゅう</sup>する順序<sup>じゆんじょ</sup>を<sup>か</sup>える場合<sup>ばあい</sup>があります。</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう  
【評価の観点および場面・方法】

ひょうか かんてん 評価の観点		ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法		
<p>知<sup>ち</sup>識<sup>し</sup> 能<sup>のう</sup>・ 技<sup>ぎ</sup>能<sup>のう</sup></p>	<p>かつどう たいけん とお じぶんじしん みぢか ひとびと しゃかい しぜん とくちよう 活動<sup>かつどう</sup>や体験<sup>たいけん</sup>を通して、自分<sup>じぶん</sup>自身<sup>じしん</sup>、身近<sup>みぢか</sup>な人々<sup>ひとびと</sup>、社会<sup>しゃかい</sup>や自然<sup>しぜん</sup>の特徴<sup>とくちよう</sup>やよさに気<sup>き</sup>づく。</p>	<p>はつげん はっぴよう 発言<sup>はつげん</sup>・発表<sup>はっぴよう</sup></p>	<p>じゆぎよう ようす 授業<sup>じゆぎよう</sup>の様子<sup>ようす</sup></p>	<p>せいかつ 生活<sup>せいかつ</sup>カード</p>
<p>思<sup>し</sup>考<sup>こう</sup> 表<sup>ひ</sup>現<sup>げん</sup>判<sup>はん</sup>断<sup>だん</sup></p>	<p>みぢか ひとびと しゃかい しぜん なか じぶんじしん じぶん せいかつ 身近<sup>みぢか</sup>な人々<sup>ひとびと</sup>、社会<sup>しゃかい</sup>や自然<sup>しぜん</sup>とのかかわりの中<sup>なか</sup>で、自分<sup>じぶん</sup>自身<sup>じしん</sup>や自分<sup>じぶん</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>についで<sup>い</sup>て<sup>て</sup>考<sup>かんが</sup>え、表<sup>ひょうげん</sup>現<sup>げん</sup>する。</p>	<p>はつげん はっぴよう 発言<sup>はつげん</sup>・発表<sup>はっぴよう</sup></p>	<p>じゆぎよう ようす 授業<sup>じゆぎよう</sup>の様子<sup>ようす</sup></p>	<p>せいかつ 生活<sup>せいかつ</sup>カード</p>
<p>主<sup>しゆ</sup>体<sup>たい</sup>的<sup>てき</sup> に 取<sup>と</sup>り 組<sup>く</sup>む 態<sup>たい</sup>度<sup>ど</sup></p>	<p>しゆたいてき せいかつ がくしゅう と く 主<sup>しゆ</sup>体<sup>たい</sup>的<sup>てき</sup>に生活<sup>せいかつ</sup>の学習<sup>がくしゅう</sup>に取<sup>と</sup>り組<sup>く</sup>む。</p>	<p>はつげん はっぴよう 発言<sup>はつげん</sup>・発表<sup>はっぴよう</sup></p>	<p>じゆぎよう ようす 授業<sup>じゆぎよう</sup>の様子<sup>ようす</sup></p>	<p>せいかつ 生活<sup>せいかつ</sup>カード</p>